

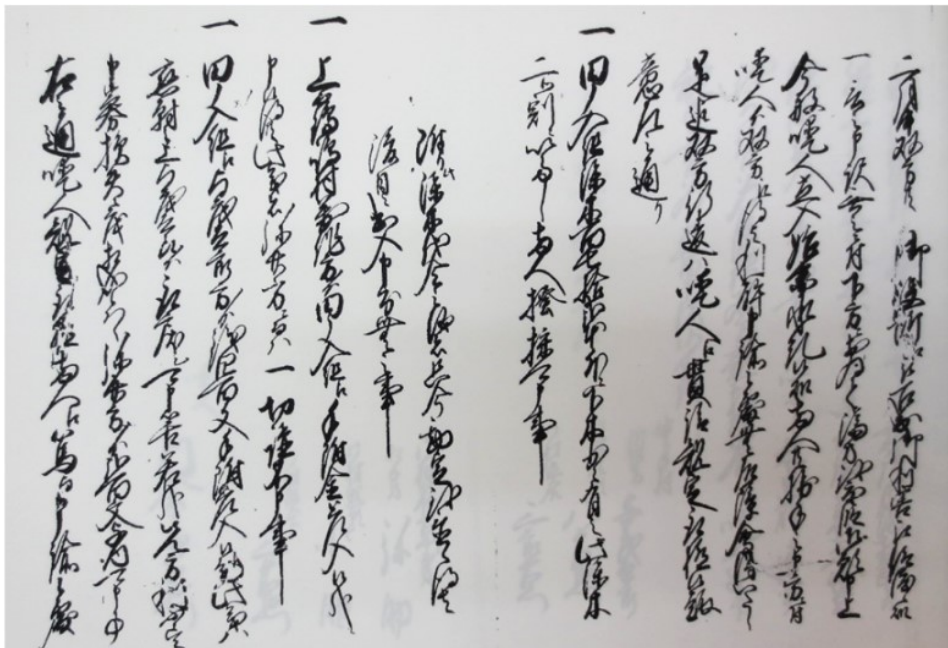
国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業

周縁的社会集団と近代—日本と欧米におけるアジア史研究の架橋 第19回セミナー（2019年度第4回）

今回のセミナーでは、本事業の海外連携研究者であるマーレン・エーラス氏を迎えて、「史料読解ワークショップ」を開催します。

エーラス氏は現在、日本近世の大野藩の史料を読み進めています。今回はその中から漆関係の史料をとりあげて紹介していただきます。大野の漆掻きが甲州で起こした漆木の売買をめぐる争論の史料を用いて、くずし字の解読・読み下し・現代語訳の手順を進めつつ、史料を分析していきます。

専門以外の方にも理解していただけるように、塚田孝氏による分かりやすい解説もつきます。日本近世・近代史、都市社会史、地域社会史に関心のある皆さまのふるってのご参加をお待ちいたしております。



写真：大野藩中手村 内倉甚右衛門家の文書より

日時 2019年7月11日（木） 17:00～19:30

会場 大阪市立大学 文学部会議室（文学部棟 1F L122）

内容 史料読解ワークショップ

報告（史料検討）：マーレン・エーラス氏

（ノースカロライナ大学シャーロット校・歴史学科・准教授 / 海外連携研究者）

「近世・越前大野における漆木売買の争論史料をめぐって」

解説：塚田孝氏（大阪市立大学・教授 / 担当研究者）

・テキスト：近世大野藩の史料

連絡・問い合わせ先

国際的な活躍が期待できる研究者の育成事業「周縁的社会集団と近代」事務局
佐賀 朝 (UCRC 所長・文学研究科教授) E-mail: CYI03126@nifty.ne.jp